
ツイてない男の恋

三宅晴美

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ツイてない男の恋

【Nコード】

N1765J

【作者名】

三宅晴美

【あらすじ】

ずっと悪運の元で生きてきた冴えない男立松新三郎と、その友人で対照的なモテ男、池上が、同じ女性に恋をした。池上にはかなわないと思いつつも立松はその女性に惹かれていく。その女性を選ぶのは？3人の恋模様。

きっかけ（前書き）

皆さんはご記憶に残っていらっしゃるでしょうか。名探偵コナンのアニメオリジナル『悪運グランプリ』を。私はそこで立松さんを見て以来この性格はよさそうなのにツイてない人が幸せになる恋を書いてみたいと思っていました。多少キャラが違うかもしれませんが、皆さんの中のおひとりでも、楽しんでくだされば嬉しいです。

きっかけ

その日、立松新三郎は、たてまつしんざぶろう高校時代の友人である池上達彦と街角で偶然会った。いけがみたつひこ

「久しぶりだね」

きちんとスーツを着て、サラリーマン風だが、冴えない印象の立松と違い、外資系の大手銀行に勤務し、また財産家の次男である程度金も自由に使える池上はブランドものをさりげなく着こなしている。

「同窓会で会ったきりだから1年ぶりくらいだな。茶でも飲もう。本当は夕飯でもと言いたいところなんだが、あいにく今夜は用事があるからね」

「いいよ、もちろん」

断る理由もなかったため、立松は同意し、池上のお気に入りだというそのカフェテラスに入った。

窓際の席につき、テーブルを挟んで向かい合うと、立松は昔から対照的なこの友人を眺めた。

立松は、昔から取り立てて目立つたところがない男だった。ただひとつ、とてつもない悪運を除いては。大した取り柄もない代わりに運もさほど悪くなく、平凡な人生を送っている、と言うなら普通だが、立松の場合は、それに加えて見事なまでに運が悪く、その様子を甥っ子がビデオに撮り、それがテレビの面白ビデオ大賞に紹介されたのがきっかけで半年ほど前、殺人未遂事件に巻き込まれ、立松自身も大怪我を負ったほどである。それにもめげずに地道な生き方ができるところとお人好しさが取り柄と言えれば取り柄だろうか。

それに比較して、財産家の次男、現役で一流大学を卒業し、これもまた一流と言われる外資系の銀行に就職、順調に出世コースを歩んでいるのが目の前の池上である。また、スポーツマンで、3ヶ国語を操ることができ、かなりの美青年でもある池上は女にもよくモテ

ている。絵に描いたような女性の理想像であつた。

何もかもが対照的なこの友人を、何度羨ましく思つたことだろう。自分が好きだった女の子が、池上に想いを寄せているという経験も何度もしてきた。

それでも、友人でいられるのは、どうしてなんだろう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1765j/>

ツイてない男の恋

2010年11月13日22時53分発行